

Z 8 活用ガイド

(ファームウェアバージョン 3.00
補足説明書)

目次

ファームウェアバージョンアップによる変更内容 (C:3.00)	5
ファームウェアバージョン (C:3.00) による機能の追加・変更について.....	5
ファームウェアバージョンについて.....	5
ファームウェア (C:3.00) による変更点一覧.....	6
静止画撮影関連.....	6
動画撮影関連.....	6
再生関連.....	6
操作関連.....	7
ネットワーク関連.....	7
ワイドエリア AF で設定できる AF エリアの範囲が拡張.....	8
被写体検出機能の変更と追加.....	9
マニュアルフォーカス時の被写体検出設定に対応.....	9
マニュアルフォーカス時の被写体検出範囲の設定が追加.....	9
ピクチャーコントロールがフレキシブルカラーに対応.....	10
フレキシブルカラーの登録方法.....	10
リリースモードに 【C15】 が追加.....	11
「ハイスピードフレームキャプチャー +」撮影時の画質を設定する機能が追加.....	12
静止画撮影メニューにノイズ低減処理の種類を選ぶ 【高感度ノイズ処理モード】 が追加.....	13
高周波フリッカー低減機能に周波数設定モードが追加.....	14
周波数の切り換え方法.....	14
周波数の値を調整する.....	16
静止画撮影メニューで設定する.....	17
静止画撮影メニュー 【フォーカスシフト撮影】 に 【オプション】 が追加.....	19
ピクセルシフト撮影の機能追加と制限の変更.....	21
追加された機能について.....	21
セルフタイマー設定時のピクセルシフト撮影.....	22
オートキャプチャー撮影機能の変更と追加.....	23
カメラでのマニュアルフォーカス設定に対応.....	23
リリースモードに追加された 【C15】 に対応.....	23
設定画面の表示と項目名の変更.....	24

[詳細条件：距離] で設定できる範囲が拡大.....	25
[開始日時指定] の追加.....	26
オートキャプチャー撮影実行時に黄色の枠が表示.....	26
Profoto A10 を AF 補助光として使用可能.....	27
ハイレゾズームに被写体検出枠の表示が追加.....	28
外部レコーダーに記録する動画のファイル名にカメラでのファイル名を含める機能が追加.....	29
再生メニューと再生時の i メニューの [フィルター再生の条件設定] に [日付] が追加.....	30
再生時の i メニュー [画像編集] に [画像編集機能のカスタマイズ] が追加.....	31
再生メニューに [再生中の画面自動回転] が追加.....	32
カスタムメニュー a14 として [絞り開放 Lv] が追加.....	33
カスタムメニュー a16 として [フォーカスリミッター設定] が追加.....	34
制限範囲の設定方法.....	35
カスタムメニュー c2 [セルフタイマー] の [連続撮影間隔] に [最短] が追加.....	37
カスタムメニュー f1/g1 [■ メニューのカスタマイズ] に機能追加.....	38
カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] と g2 [カスタムボタンの機能] に機能追加	39
機能を割り当てられるボタンの追加.....	39
追加された割り当てられる機能.....	39
[拡大画面との切り換え] の設定項目が変更.....	40
カスタムメニュー f3 [カスタムボタンの機能 (再生)] に機能追加.....	41
機能を割り当てられるボタンの追加.....	41
追加された割り当てられる機能.....	42
スマートフォンとの無線接続方法として [Wi-Fi 接続 (ステーションモード)] が追加.....	43
既存のネットワークに接続する (Wi-Fi ステーションモード)	43
スマートフォンと直接接続する (Wi-Fi アクセスポイントモード)	49
Wi-Fi ステーションモード／Wi-Fi アクセスポイントモードの解除方法.....	50
FTP 接続設定で FTP のポート番号の指定が可能.....	51
ネットワークメニュー [FTP サーバーと接続] に [送信時の HEIF 変換] が追加.....	52
ファームウェア C:3.00 での主な仕様.....	53
索引.....	64
索引.....	64
マーク・英数字.....	64
ア.....	64

カ..... 64

サ..... 64

ハ..... 64

ワ..... 64

ファームウェアバージョンアップによる 変更内容（C:3.00）

ファームウェアバージョン（C:3.00）による 機能の追加・変更について

Z8「活用ガイド」の内容は、ファームウェアのバージョンが C:2.10であることを前提に説明しています（最新の活用ガイドはダウンロードセンターからダウンロードできます）。お使いのカメラのファームウェアが C:3.00 の場合、この章の内容が追加または変更されています。合わせてお読みください。

ファームウェアバージョンについて

カメラのファームウェアバージョン確認およびバージョンアップは、セットアップメニュー【ファームウェアバージョン】で行えます。

カメラのファームウェアをバージョンアップするには、パソコンをお使いになる方法とスマートフォンをお使いになる方法があります。

- **パソコンをお使いの場合**：ニコンダウンロードセンターで新しいバージョンのファームウェアがあるか確認できます。バージョンアップの手順については、ファームウェアのダウンロードページをご覧ください。

<https://downloadcenter.nikonimglib.com/>

- **スマートフォンをお使いの場合**：SnapBridge アプリでカメラとスマートフォンをペアリング済みの場合、カメラの新しいファームウェアがあるとアプリにお知らせが表示され、スマートフォン経由でファームウェアをカメラ内のメモリーカードに転送できます。バージョンアップの手順については、SnapBridge アプリのヘルプをご覧ください。お知らせが表示されるタイミングは、ニコンダウンロードセンターで公開されるタイミングと異なる場合があります。

ファームウェア（C:3.00）による変更点一覧

カメラのファームウェアを C:3.00 にバージョンアップすると、次の機能に変更があります。詳しくは各参照先をご覧ください。

静止画撮影関連

- ワイドエリア AF で設定できる AF エリアの範囲が拡張 ([📖 8](#))
- 被写体検出機能の変更と追加 ([📖 9](#))
- ピクチャーコントロールがフレキシブルカラーに対応 ([📖 10](#))
- レリーズモードに **【C15】** が追加 ([📖 11](#))
- 「ハイスピードフレームキャプチャー +」撮影時の画質を設定する機能が追加 ([📖 12](#))
- 静止画撮影メニューにノイズ低減処理の種類を選ぶ **【高感度ノイズ処理モード】** が追加 ([📖 13](#))
- 高周波フリッカー低減機能に周波数設定モードが追加 ([📖 14](#))
- 静止画撮影メニュー **【フォーカスシフト撮影】** に **【オプション】** が追加 ([📖 19](#))
- ピクセルシフト撮影の機能追加と制限の変更 ([📖 21](#))
- オートキャプチャー撮影機能の変更と追加 ([📖 23](#))
- Profoto A10 を AF 補助光として使用可能 ([📖 27](#))


動画撮影関連

- ワイドエリア AF で設定できる AF エリアの範囲が拡張 ([📖 8](#))
- 被写体検出機能の変更と追加 ([📖 9](#))
- ピクチャーコントロールがフレキシブルカラーに対応 ([📖 10](#))
- オートキャプチャー撮影機能の変更と追加 ([📖 23](#))
- ハイレゾズームに被写体検出枠の表示が追加 ([📖 28](#))
- 外部レコーダーに記録する動画のファイル名にカメラでのファイル名を含める機能が追加 ([📖 29](#))

再生関連

- 再生メニューと再生時の **i** メニューの **【フィルター再生の条件設定】** に **【日付】** が追加 ([📖 30](#))
- 再生時の **i** メニュー **【画像編集】** に **【画像編集機能のカスタマイズ】** が追加 ([📖 31](#))
- 再生メニューに **【再生中の画面自動回転】** が追加 ([📖 32](#))

操作関連

- カスタムメニュー a14 として **〔絞り開放 Lv〕** が追加 ([📖 33](#))
- カスタムメニュー a16 として **〔フォーカスリミッター設定〕** が追加 ([📖 34](#))
- カスタムメニュー c2 **〔セルフタイマー〕** の **〔連続撮影間隔〕** に **〔最短〕** が追加 ([📖 37](#))
- カスタムメニュー f1/g1 **〔 メニューのカスタマイズ〕** に機能追加 ([📖 38](#))
- カスタムメニュー f2 **〔カスタムボタンの機能 (撮影)〕** と g2 **〔カスタムボタンの機能〕** に機能追加 ([📖 39](#))
- カスタムメニュー f3 **〔カスタムボタンの機能 (再生)〕** に機能追加 ([📖 41](#))

ネットワーク関連

- スマートフォンとの無線接続方法として **〔Wi-Fi 接続 (ステーションモード)〕** が追加 ([📖 43](#))
- FTP 接続設定で FTP のポート番号の指定が可能 ([📖 51](#))
- ネットワークメニュー **〔FTP サーバーと接続〕** に **〔送信時の HEIF 変換〕** が追加 ([📖 52](#))

ワイドエリア AF で設定できる AF エリアの範囲が拡張

AF エリアモードの「ワイドエリア AF (C1)」および「ワイドエリア AF (C2)」で設定できる AF エリアの範囲が拡張されました。

- 以前のバージョンでは静止画撮影時に設定できる AF エリアの範囲は [1×1] から [19×11] の 20 パターンでしたが、C:3.00 からは [1×1] から [29×17] の 135 パターン設定できるようになりました。
- 以前のバージョンでは動画撮影時に設定できる AF エリアの範囲は [1×1] から [13×7] の 12 パターンでしたが、C:3.00 からは [1×1] から [29×15] の 120 パターン設定できるようになりました。

被写体検出機能の変更と追加

静止画撮影時および動画撮影時の被写体検出機能に変更と追加があります。

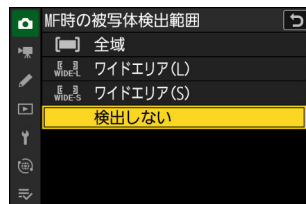
マニュアルフォーカス時の被写体検出設定に対応

静止画撮影メニューまたは動画撮影メニュー「**AF 時の被写体検出設定**」の名称が「**AF/MF の被写体検出設定**」に変更になりました。以前のファームウェアバージョンではオートフォーカス使用時に優先してフォーカスを合わせる被写体を設定できましたが、C:3.00からはマニュアルフォーカス時にも対応しました。



マニュアルフォーカス時の被写体検出範囲の設定が追加

静止画撮影メニューおよび動画撮影メニューに「**MF 時の被写体検出範囲**」が追加になりました。マニュアルフォーカス時に被写体を検出する範囲を設定できます。



- **全域** を選ぶと、撮影画面全域から被写体を検出します。複数の被写体を検出した場合は、被写体にグレーの枠が表示されフォーカスポイントに ◀ および ▶ が表示されます。マルチセクターの Ⓢ を押してピントを合わせたい被写体を選ぶことができます。
- **ワイドエリア (L)** または **ワイドエリア (S)** を選ぶと、フォーカスポイントの範囲内で被写体を検出します。
- **検出しない** を選ぶと、マニュアルフォーカス時は被写体検出を行いません。

ピクチャーコントロールがフレキシブルカラーに対応

ピクチャーコントロールの機能として、フレキシブルカラー機能に対応しました。フレキシブルカラーは、パソコン用のソフトウェア NX Studio で調整できるピクチャーコントロールです。カラーブレンダーやカラーグレーディングなどを使用して多彩な調整を行えます。

フレキシブルカラーの登録方法


NX Studio で調整したフレキシブルカラーをメモリーカードに書き出すと、カメラに読み込んでカスタムピクチャーコントロールとして使用できます。

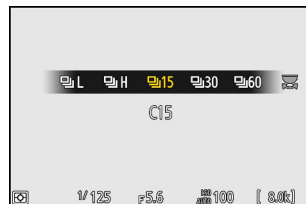
- NX Studio の **「ピクチャーコントロール」** > **「フレキシブルカラー」** で調整を行い、カスタムピクチャーコントロールとしてメモリーカードに書き出します。調整方法や、メモリーカードへ書き出す方法については、NX Studio のヘルプをご覧ください。
- メモリーカードに書き出したピクチャーコントロールを、カメラの静止画撮影メニューまたは動画撮影メニューの **「カスタムピクチャーコントロール」** で読み込んで登録すると、ピクチャーコントロールの一覧画面に表示されます。
 - カメラに読み込んだ **「フレキシブルカラー」** を元にしたカスタムピクチャーコントロールは、カメラでは調整や名称の変更は行えません。



レリーズモードに【C15】が追加

レリーズモードに【C15】が追加されました。15コマ/秒で「ハイスピードフレームキャプチャー +」撮影を行えます。

-  ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回して【C15】を選ぶと15コマ/秒で「ハイスピードフレームキャプチャー +」撮影を行えます。
- 撮影する画像の設定は次のようになります。
 - シャッタースピード：1/32000～1/60 秒
 - [撮像範囲]：[FX (36×24)] または [DX (24×16)]
 - [画像サイズ]：[サイズ L] 固定
- プリキャプチャー機能も使用できます。



「ハイスピードフレームキャプチャー +」撮影時の画質を設定する機能が追加

静止画撮影メニュー **〔画質モード〕** のメニュー名が **〔画質モード設定〕** に変更され、「ハイスピードフレームキャプチャー +」撮影時の画質をその他のレリーズモード時の画質と別に設定できるようになりました。



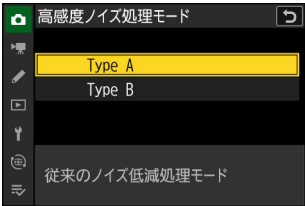
項目	内容
〔画質モード〕	レリーズモードを 〔1コマ撮影〕 、 〔低速連続撮影〕 、 〔高速連続撮影〕 、 〔セルフタイマー撮影〕 に設定した場合の画質を設定できます。以前のファームウェアバージョンの 〔画質モード〕 と同じ機能です。
〔画質モード (HSFC)〕	レリーズモードを 〔C15〕 ～ 〔C120〕 に設定した場合の画質を設定できます。 <ul style="list-style-type: none">• 画質は 〔FINE〕 または 〔NORMAL〕 から選べます。

次の場合、現在設定されているレリーズモードが **〔C15〕** ～ **〔C120〕** の場合は **〔画質モード (HSFC)〕**、それ以外のレリーズモードの場合は **〔画質モード〕** の設定を変更します。

- カスタムメニュー f2 **〔カスタムボタンの機能 (撮影)〕** で **〔画質モード/画像サイズ〕** を割り当てたボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回した場合
- 撮影時の **i** メニュー **〔画質モード〕** で設定を変更する場合

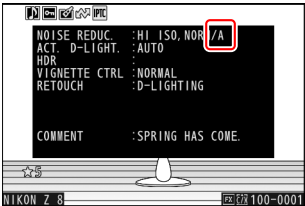
静止画撮影メニューにノイズ低減処理の種類を選ぶ【高感度ノイズ処理モード】が追加

静止画撮影メニューに【高感度ノイズ処理モード】が追加されました。【高感度ノイズ低減】を行う場合の処理方法を選べます。



項目	内容
【Type A】	従来のノイズ低減処理を行います。
【Type B】	ノイズの見え方を変更したノイズ低減処理を行います。

- 撮影した画像に適用した処理方法は、再生画面の撮影情報にある【撮影情報その他】ページに表示されます。
- 撮影情報の【撮影情報その他】ページを表示するには、再生メニュー【再生画面設定】で【撮影情報】および【撮影情報その他】のチェックボックスをオン ☒ にしてください。



ヒント：RAW 現像について

再生時の *i* メニュー【画像編集】>【RAW 現像（表示画像）】または【RAW 現像（複数画像）】の現像項目にも【高感度ノイズ処理モード】が追加されています。

高周波フリッカー低減機能に周波数設定モードが追加

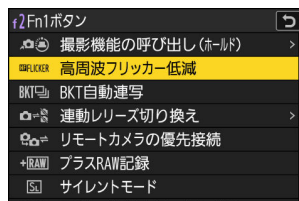
静止画モードの高周波フリッカー低減機能に周波数設定モードが追加され、光源の周波数を設定できるようになりました。フリッカー現象が低減される周波数を、光源に合わせて選べます。

- 周波数を設定すると、撮影時に選べるシャッタースピードの値が設定した周波数の周期の整数倍に固定されます。フリッカー低減の効果を維持したまま、シャッタースピードの変更が可能です。
- LED 照明や高周波 LED ディスプレイは製品によって周波数が異なるため、製品に合わせた周波数を複数登録しておけば、状況に応じて切り換えて撮影を行えます。
- 周波数は [PRE1] (7680Hz) ~ [PRE4] (1920Hz) の 4 通りが用意されています。周波数の調整も可能です。
- 周波数を設定した場合、シャッタースピードは 1/ (周波数) 秒よりも低速にしてください。

周波数の切り換え方法

周波数はあらかじめ 4 通り登録されています。カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] で任意のボタンに [高周波フリッカー低減] を割り当てると、撮影画面を見ながら周波数を切り換えられます。

- 1** カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] で任意のボタンに [高周波フリッカー低減] を割り当てると



- 2** [高周波フリッカー低減] を割り当てたカスタムボタンを長押しする

周波数設定モードになります。



3 周波数を切り換える

- サブコマンドダイヤルを回すと [PRE1]、[PRE2]、[PRE3]、[PRE4]、[OFF] を切り換えられます。
- [PRE1] ～ [PRE4] には次の周波数があらかじめ設定されています。光源の照明や高周波 LED ディスプレイに合わせて、フリッカー現象が低減される周波数を選んでください。
 - [PRE1] : 7680Hz
 - [PRE2] : 3840Hz
 - [PRE3] : 2880Hz
 - [PRE4] : 1920Hz
- [PRE1] ～ [PRE4] のどれを選んでもフリッカー現象が低減されない場合は、周波数を調整してください (□ 16)。
- [OFF] に設定すると、以前のファームウェアバージョンと同じ動作になります。
- 周波数設定モードでシャッターボタンを押しても撮影はできません。



4 ※ ボタンを押して周波数設定モードを終了する

周波数設定モードを終了すると、撮影画面に戻って撮影が可能になります。

✓ 高周波フリッカー低減のご注意

- 周波数を設定しても、撮影画面の表示と撮影画像ではフリッカー現象の表れ方が異なることがあります。
- 周波数を設定してフリッカー現象が低減しても、シャッタースピードを変更するとフリッカー現象が現れることがあります。
- 試し撮りをして、ちらつきや LED の縞が最も低減される周波数またはシャッタースピードに設定することをおすすめします。

周波数の値を調整する

[PRE1] ～ [PRE4] の周波数の値は調整可能です。

- 1 [高周波フリッカー低減] を割り当てたカスタムボタンを長押しして周波数設定モードにする



- 2 [PRE1] ～ [PRE4] の中から周波数を調整したい項目に切り換える



- 3 DISP ボタンを押す



- 4 周波数を入力する

- ◀▶ を押して桁を選び、⌚ を押して数値を決定します。
- 周波数の値は 30～9999Hz の間で調整可能です。



5 DISP ボタンまたは OK ボタンを押す

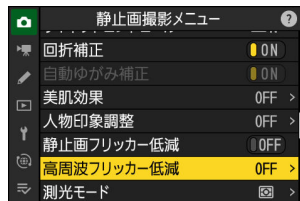
- DISP ボタンを押すと、周波数を決定して周波数設定モードに戻ります。
- OK ボタンを押すと、周波数を決定して周波数設定モードを終了して撮影画面に戻ります。



静止画撮影メニューで設定する

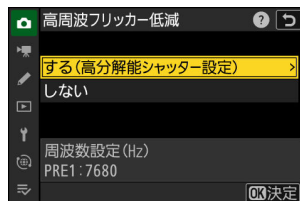
周波数は静止画撮影メニュー「高周波フリッカー低減」でも設定できます。

1 静止画撮影メニュー「高周波フリッカー低減」を選んでマルチセクターの OK を押す

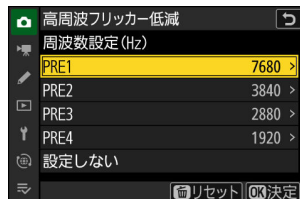


2 「する（高分解能シャッター設定）」を選んでマルチセクターの OK を押す


現在選ばれている周波数の設定が表示されています。








3 「PRE1」～「PRE4」または「設定しない」から周波数を選ぶ OK ボタンを押すと、周波数を決定してメニューに戻ります。



✓ 静止画撮影メニュー「高周波フリッカー低減」で周波数を調整する



静止画撮影メニュー「高周波フリッカー低減」>「する（高分解能シャッター設定）」で「PRE1」～「PRE4」を選んでマルチセクターの  を押すと、周波数を調整できます。

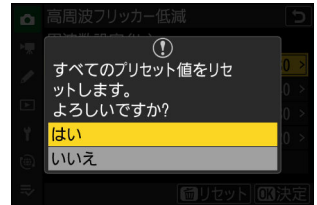
-   を押して桁を選び、  を押して数値を決定します。
- 周波数の値は 30～9999Hz の間で調整可能です。
-  ボタンを押すと、周波数を決定してメニューに戻ります。



✓ 調整した周波数をリセットする

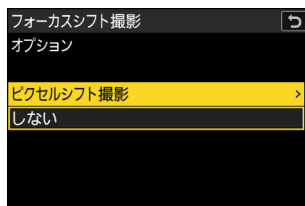
静止画撮影メニュー「高周波フリッカー低減」>「する（高分解能シャッター設定）」で「PRE1」～「PRE4」の全ての値をリセットできます。


-  (RESET) ボタンを押し、「はい」を選んで  ボタンを押すと周波数をリセットして初期設定に戻します。








静止画撮影メニュー〔フォーカスシフト撮影〕に〔オプション〕が追加

静止画撮影メニュー〔フォーカスシフト撮影〕に〔オプション〕が追加され、〔ピクセルシフト撮影〕を設定できるようになりました。〔ピクセルシフト撮影〕を選べると、フォーカスシフト撮影 1 回ごとにピクセルシフト撮影を行い、通常よりも高画質な深度合成の素材を撮影できます。



〔オプション〕を選んで  を押すと、次の項目が表示されます。

項目	内容
〔ピクセルシフト撮影〕	<p>〔ピクセルシフト撮影〕を選んで  ボタンを押すと、〔撮影コマ数〕と〔待機時間〕が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none">•〔撮影コマ数〕: 1 回のフォーカスシフト撮影ごとに撮影するピクセルシフト撮影のコマ数を設定します。撮影するコマ数が多いほど撮影にかかる時間が長くなりますが、合成した画像の画質は高くなります。•〔待機時間〕: ピクセルシフト撮影のコマ間の撮影間隔を秒単位で設定できます。
〔しない〕	オプションなしでフォーカスシフト撮影を行います。

- 静止画撮影メニュー〔フォーカスシフト撮影〕 > 〔撮影開始〕を選んで  ボタンを押すと表示パネルに  と  が点滅し、約 5 秒後に撮影を開始します。
- 撮影を途中で終了するには、次の撮影までの間にシャッターボタンを半押しするか、 ボタンを押します。

✓ **【オプション】で【ピクセルシフト撮影】を選んだ場合のご注意**

- **【フォーカスシフト撮影】** > **【待機時間】** を設定していても、**【ピクセルシフト撮影】** > **【待機時間】** の撮影間隔で撮影されます。
 - オートフォーカスで撮影する場合、フォーカスモードは **AF-S** に固定されます。**AF-C** 時のみ設定できる AF エリアモードを選んでいたら、シングルポイント AF に切り替わります。
-


ピクセルシフト撮影の機能追加と制限の変更

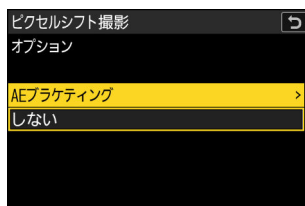
静止画撮影メニュー【ピクセルシフト撮影】に【オプション】と【撮影開始時の記録フォルダー】が追加されました。また、セルフタイマーに設定している場合でも【ピクセルシフト撮影】を設定できるようになりました。


追加された機能について

【オプション】と【撮影開始時の記録フォルダー】の設定は次の通りです。

オプション

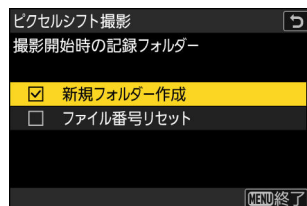
【オプション】を選んで  を押すと、次の項目が表示されます。



項目	内容
【AE ブラケットिंग】	【AE ブラケットिंग】を選んで  ボタンを押すと、1回のピクセルシフト撮影で行う AE ブラケットिंगの【コマ数】と【補正ステップ】を設定できます。
【しない】	オプションなしでピクセルシフト撮影を行います。

撮影開始時の記録フォルダー

「撮影開始時の記録フォルダー」を選んで **Ⓢ** を押すと、次の項目が表示されます。項目を選んで **Ⓢ** ボタンを押すかマルチセクターの **Ⓢ** を押すと、オン ☒ とオフ ☐ を切り換えられます。



項目	内容
「新規フォルダー作成」	オン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、ピクセルシフト撮影を開始するたびに新しいフォルダーを自動的に作成して画像を保存します。
「ファイル番号リセット」	オン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、新規フォルダーが作成されるたびにファイル番号が「0001」に戻ります。 • 「新規フォルダー作成」がオン <input checked="" type="checkbox"/> の場合のみ有効です。

セルフタイマー設定時のピクセルシフト撮影

レリーズモードを「セルフタイマー」に設定している場合でも、「ピクセルシフト撮影」を設定できるようになりました。

- 「ピクセルシフト撮影」 > 「ピクセルシフト撮影モード」を「しない」以外に設定すると、撮影が終了するまで「セルフタイマー」が無効になります。

オートキャプチャー撮影機能の変更と追加

静止画撮影メニューと動画撮影メニューの「オートキャプチャー」に、機能の変更および追加があります。

カメラでのマニュアルフォーカス設定に対応

マニュアルフォーカスで撮影する場合、以前のファームウェアバージョンではレンズのフォーカスモード切り換えスイッチを「M」に設定する必要がありましたが、C:3.00 からはカメラでフォーカスモードをマニュアルフォーカスに設定するだけで撮影できるようになりました。

- マニュアルフォーカス時に「キャプチャー条件」で「距離」をオフにしている場合、被写体を判別するエリアの有効/無効を「有効エリアの設定」で切り換えられるようになりました。

✓ 「キャプチャー条件」で「距離」をオンに設定している場合のご注意

- マニュアルフォーカス時の **AF-ON** ボタンおよびシャッターボタンでの距離設定は、ボタンを押した時点でのピント位置に設定されます。ボタンを押す前にフォーカスリングまたはコントロールリングを回してピント位置を調整してください。
- ピントが大きく外れて被写体がボケている状態では、被写体までの距離を認識する精度が下がる場合があります。

レリーズモードに追加された「C15」に対応

レリーズモードに追加された「C15」も使用できます。

設定画面の表示と項目名の変更

一部の設定画面の表示と項目名が変更されました。

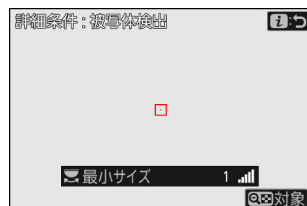
モーション設定画面

- [Speed] が [最小速度] に変更されました。
- [Subject Size] が [最小サイズ] に変更されました。



被写体検出設定画面

[Subject Size] が [最小サイズ] に変更されました。



距離設定画面

- [Near] が [最小距離] に変更されました。
- [Far] が [最大距離] に変更されました。



【詳細条件：距離】で設定できる範囲が拡大

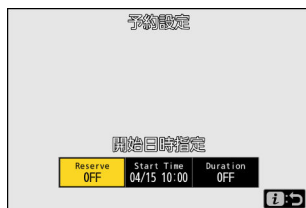
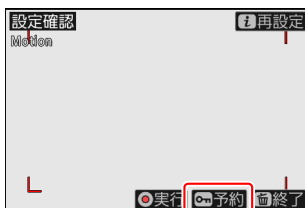
以前のファームウェアバージョンでは、カメラが被写体を認識する範囲として設定できる値は焦点距離によって異なりました。C:3.00 からは焦点距離にかかわらず、0.1～999m の範囲を設定できるようになりました。

- メインコマンドダイヤルを回すと【最小距離】の値を、サブコマンドダイヤルを回すと【最大距離】の値を調整できます。
- 【最小距離】と【最大距離】は、数字が白で表示される値の範囲内に設定することをおすすめします。黄色で表示されている値に設定すると、被写体までの距離を認識する精度が下がることがあります。



[開始日時指定] の追加

設定確認画面で **On (Fn3)** ボタンを押すと、オートキャプチャー撮影を開始する日時を設定できるようになりました。設定した日時に、設定した時間分だけオートキャプチャー撮影を実行します。

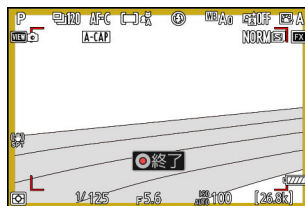


項目	内容
[開始日時指定]	[する] を選ぶと、設定した日時に、設定した時間の長さで撮影を行います。
[開始日時]	撮影を開始する日、時間、分を指定できます。
[実行時間]	オートキャプチャー撮影する時間の長さを [指定しない]、[1 時間]、[2 時間]、[3 時間] から設定できます。[指定しない] を選ぶと、手動でオートキャプチャー撮影を終了するまでオートキャプチャー撮影を行います。

オートキャプチャー撮影実行時に黄色の枠が表示

オートキャプチャー撮影を開始し、設定した条件を満たす被写体をカメラが認識していない間は、撮影画面の周囲に黄色の枠が表示されます。オートキャプチャー撮影の撮影待機中であることが判別しやすくなります。

- カメラが被写体を認識して撮影を行っている間は、撮影画面の周囲に赤い枠が表示されます。



Profoto A10 を AF 補助光として使用可能

Profoto 社の Profoto A10 (オンカメラ・フラッシュライト) をカメラに装着している場合、Profoto A10 の LED 定常光を AF 補助光として使用できるようになりました。AF 補助光を照射する設定にした Profoto A10 を装着した場合、カメラのカスタムメニュー a12 [内蔵 AF 補助光の照射設定] の設定にかかわらず、Profoto A10 が照射されます。

- Profoto A10 が AF 補助光を照射する設定にしていない場合は、a12 の設定に従ってカメラの AF 補助光が動作します。
- Profoto A10 を AF 補助光として使用する場合、Profoto A10 のファームウェアを最新版にする必要があります。Profoto A10 のファームアップ方法および使用方法は Profoto A10 の説明書をご覧ください。

ハイレゾズームに被写体検出枠の表示が追加

動画撮影メニュー「ハイレゾズーム」を「ON」に設定している場合、カメラが被写体を検出すると撮影画面に被写体検出枠が表示されるようになりました。



- オートフォーカス時は動画撮影メニュー「AF/MFの被写体検出設定」>「被写体検出」を「[しない]」以外に設定している場合に有効です。
- マニュアルフォーカス時は動画撮影メニュー「AF/MFの被写体検出設定」>「被写体検出」を「[しない]」以外に設定し、動画撮影メニュー「MF時の被写体検出範囲」で「検出しない」以外に設定している場合に有効です。

外部レコーダーに記録する動画のファイル名にカメラでのファイル名を含める機能が追加

Atomos 社の外部レコーダーを接続してカメラのメモリーカードと外部レコーダーの両方に動画を記録する場合に、外部レコーダーに記録するファイル名の一部にカメラのメモリーカードに記録する動画のファイル名が入るようになりました。両方の動画ファイルに共通の文字列が入ることで、動画編集時にファイルの紐づけがしやすくなります。

- カメラにメモリーカードが挿入され、動画撮影メニュー **【外部記録制御 (HDMI)】** が **[ON]** に設定されている状態で動画記録を開始すると、カードに記録される動画のファイル名が外部レコーダーに送信されます。
- 拡張子は外部レコーダーに送信されません。
- ファイル名の送信に対応している Atomos 社の外部レコーダーは次の通りです (2024 年 3 月現在)。
 - Ninja (2023 年発売モデル)
 - Ninja Ultra
 - Ninja V
 - Ninja V+
 - Shogun (2023 年発売モデル)
 - Shogun Ultra
 - Shogun Connect

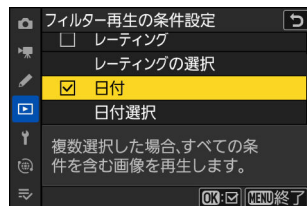
※ 製品によっては販売が終了している場合があります。対応製品の詳細は Atomos 社にお問い合わせください。

※ 製品によっては ATOMOS OS のアップグレードや、レコーダーの有償アクティベーションが必要となる場合があります。詳細は Atomos 社にお問い合わせください。

※ 外部レコーダーの設定方法や記録されるファイル名の詳細については、外部レコーダーの説明書などでご確認ください。

再生メニューと再生時の *i* メニューの〔フィルター再生の条件設定〕に〔日付〕が追加

再生メニューおよび再生時の *i* メニューの〔フィルター再生の条件設定〕に〔日付〕が追加されました。〔日付〕をオン（☒）にすると、〔日付選択〕で設定した日付の画像をフィルター再生時の再生対象にします。





- 〔日付〕を選んで ボタンを押すと、オン（☒）とオフ（☐）を切り換えられます。
- 〔日付選択〕を選んでマルチセクターの を押すと、再生対象とする日付を選択できます。
- 〔日付選択〕で日付を選択せずに〔日付〕をオン（☒）にしてフィルター再生した場合、最新の日付の画像が再生されます。
- MENU ボタンを押すと、設定を完了します。

再生時の *i* メニュー [画像編集] に [画像編集機能のカスタマイズ] が追加

再生時の *i* メニュー [画像編集] に [画像編集機能のカスタマイズ] が追加されました。[画像編集] に表示する画像編集項目を設定できます。



- 項目を選んでマルチセクターの  を押すと、オン ☒ とオフ ☐ を切り換えられます。チェックボックスをオン ☒ にした項目のみ、[画像編集] に表示されます。
-  ボタンを押すと、設定を完了します。

再生メニューに「再生中の画面自動回転」が追加

再生メニューに「再生中の画面自動回転」が追加されました。

- **[ON]** に設定すると、再生中にカメラを回転させると、画像もカメラに合わせて自動的に回転表示されます。
- **[OFF]** に設定すると、再生中にカメラ回転させても、画像は回転表示されません。

✓ 再生メニュー「画像の自動回転」について

「画像の自動回転」を **[OFF]** に設定している場合、「再生中の画面自動回転」の **[ON]** / **[OFF]**にかかわらず画像は常に横位置で表示されます。

カスタムメニュー a14 として [絞り開放 Lv] が追加

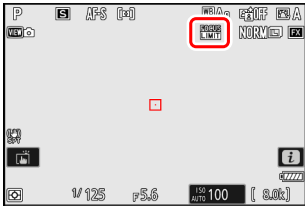
カスタムメニュー a14 として [絞り開放 Lv] が追加されました。[する] に設定すると、常に開放絞りでファインダーや画像モニターの撮影画面を表示します。シャッターボタンを全押しすると、設定した絞り値に絞り込まれてから撮影します。

✓ [絞り開放 Lv] を [する] に設定している場合のご注意

- 絞り値の設定にかかわらず常にレンズが開放絞りになります。太陽など強い光源にカメラを向けないようにご注意ください。内部の部品が破損するおそれがあります。
- シャッターのきれるタイミングが少し遅れることがあります。特にセットアップメニュー [サイレントモード] が [ON] の場合、シャッターのきれるタイミングの遅れが発生しやすくなります。
- 次のときに撮影画面にちらつきが発生することがあります。
 - シャッターをきる前後
 - カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] で [プレビュー] を割り当てたボタンを押したとき

カスタムメニュー a16 として「フォーカスリミッター設定」が追加

カスタムメニュー a16 として「フォーカスリミッター設定」が追加されました。ピント合わせを行う範囲を制限して撮影するかどうかを設定できます。

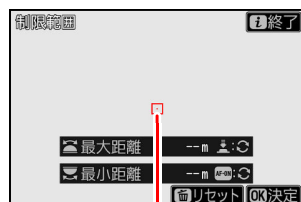
項目	内容
[フォーカスリミッター]	<p>【ON】に設定すると、ピント合わせを行う範囲を【制限範囲】で設定した距離に制限できます。</p> <ul style="list-style-type: none">• 【ON】に設定すると、撮影画面にアイコンが表示されます。 
[制限範囲]	<p>ピント合わせを行う範囲を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none">• 至近側の距離を【最小距離】、無限遠側の距離を【最大距離】で設定できます。• 設定できる値は 0.1～999m です。

制限範囲の設定方法

ピントを合わせる範囲の至近側の距離と無限遠側の距離を設定します。

1 【制限範囲】を選んでマルチセクターの を押す

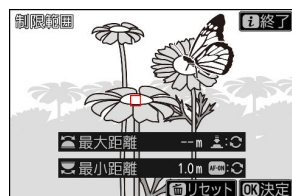
- 制限範囲設定画面が表示されます。
- 制限範囲設定画面にフォーカス指標ポイントが表示されます。



フォーカス指標ポイント

2 至近側の距離と無限遠側の距離を設定する

- 至近側にある設定したい被写体にフォーカス指標ポイントを合わせて **AF-ON** ボタンを押すと、最小距離が設定されます。メインコマンドダイヤルを回す、または **AF-ON** ボタンを押しながらレンズのフォーカスリングを回すと値を微調整できます。
- 無限遠側にある設定したい被写体にフォーカス指標ポイントを合わせてシャッターボタンを半押しすると、最大距離が設定されます。サブコマンドダイヤルを回す、またはシャッターボタン半押ししながらレンズのフォーカスリングを回すと値を微調整できます。



ヒント：【最小距離】および【最大距離】の設定について

【最小距離】と【最大距離】は、数字が白で表示される値の範囲内に設定することをおすすめします。黄色で表示されている値に設定すると、被写体までの距離を認識する精度が下がることがあります。



3 ④ ボタンを押す

制限範囲を決定すると撮影画面が表示されます。

✓ レンズを交換した場合のご注意

〔制限範囲〕を設定したレンズから他のレンズに交換すると、設定した範囲が無効になります。

- 交換したレンズでフォーカスリミッター機能を使用する場合は、〔制限範囲〕を再設定してください。
- 交換したレンズで〔制限範囲〕を再設定していない場合、元のレンズを装着し直すと設定済みの範囲内のピント合わせが行えます。

✓ フォーカス制限切り換えスイッチのあるレンズを装着した場合のご注意

フォーカス制限切り換えスイッチのあるレンズを装着して〔制限範囲〕を設定する場合は、フォーカス制限切り換えスイッチを **FULL** に設定してください。

制限範囲のリセット方法

⌵ (MENU) ボタンを押すと、〔最小距離〕と〔最大距離〕の設定値がリセットされます。

カスタムメニュー c2 [セルフタイマー] の [連続撮影間隔] に [最短] が追加

カスタムメニュー c2 [セルフタイマー] > [連続撮影間隔] に [最短] が追加されました。[最短] を選ぶと、[撮影コマ数] を 2 コマ以上に設定している場合に 0.5 秒よりも短い間隔で撮影できます。

カスタムメニュー f1/g1 [i メニューのカスタマイズ] に機能追加

カスタムメニュー f1 および g1 [i メニューのカスタマイズ] で i メニューに割り当てられる機能として [オートキャプチャー] が追加されました。



カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] と g2 [カスタムボタンの機能] に機能追加

カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] および g2 [カスタムボタンの機能] に、機能を割り当てられるボタンの種類と割り当てられる機能が追加されました。また、[拡大画面との切り換え] の設定項目も変更になりました。

機能を割り当てられるボタンの追加

機能を割り当てられるボタンとして、[リリースモードボタン] が追加されました。

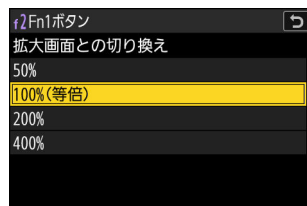
追加された割り当てられる機能

項目		内容
	[フォーカスリミッター]	ボタンを押すたびに、カスタムメニュー a16 [フォーカスリミッター設定] > [フォーカスリミッター] の [ON] と [OFF] が切り替わります。ボタンを長押しすると、[制限範囲] の設定画面を表示します (📖 34)。
	[モニターモードの切り換え]	ボタンを押すたびに、モニターモードが切り替わります。

〔拡大画面との切り換え〕の設定項目が変更

カスタムメニュー f2〔カスタムボタンの機能（撮影）〕および g2〔カスタムボタンの機能〕で割り当てられる〔拡大画面との切り換え〕に〔400%〕が追加されました。それに伴い既存の設定項目の名称も次のように変更されました。

- [50%]
- [100%（等倍）]
- [200%]



カスタムメニュー f3 [カスタムボタンの機能 (再生)] に機能追加

カスタムメニュー f3 [カスタムボタンの機能 (再生)] に機能を割り当てられるボタンの種類と割り当てられる機能が追加されました。

機能を割り当てられるボタンの追加

機能を割り当てられるボタンとして、[リリースモードボタン] が追加されました。

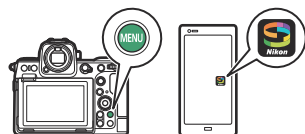
追加された割り当てられる機能

項目		内容
	[編集前の画像へジャンプ]	ボタンを押すと、画像編集した画像から画像編集する前の画像に切り換わります。
	[RAW 現像 (表示画像)]	
	[RAW 現像 (複数画像)]	
	[トリミング]	
	[リサイズ (表示画像)]	
	[リサイズ (複数画像)]	
	[D-ライティング]	
	[傾き補正]	
	[ゆがみ補正]	
	[アオリ効果]	
	[モノトーン]	
	[加算合成]	
	[比較明合成]	
	[比較暗合成]	
	[比較動合成]	
		ボタンを押すと、設定している画像編集の編集画面を表示します。

スマートフォンとの無線接続方法として [Wi-Fi 接続（ステーションモード）] が追加

カメラとスマートフォンを無線 LAN で接続する方法として、無線 LAN アクセスポイントを経由する「Wi-Fi ステーションモード」が追加されました。カメラとスマートフォンを直接接続する現在の方法は、「Wi-Fi アクセスポイントモード」に名称が変更されました。

- 「Wi-Fi ステーションモード」および「Wi-Fi アクセスポイントモード」で接続するためには、対応した SnapBridge アプリが必要です。SnapBridge は最新のバージョンをお使いください。
- カメラとスマートフォンのそれぞれで操作を行います。
- SnapBridge アプリのヘルプもあわせてご覧ください。



ヒント : NX MobileAir について

Wi-Fi ステーションモードには NX MobileAir アプリも対応しています。NX MobileAir アプリとカメラの接続方法や操作方法については、NX MobileAir アプリのヘルプをご覧ください。

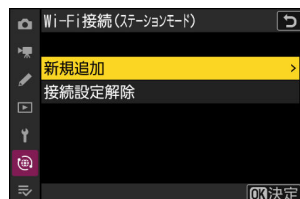
既存のネットワークに接続する（Wi-Fi ステーションモード）

ご自宅などにすでに構築されているネットワークの、無線 LAN アクセスポイントを経由してカメラとスマートフォンを接続します。カメラと無線接続中でも、スマートフォンはインターネットを使用できます。

✓ Wi-Fi ステーションモードで接続する場合

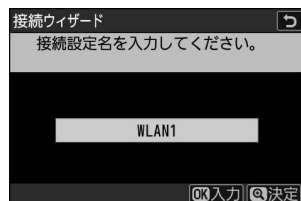
ルーターを越えて別のネットワークに接続することはできません。同じネットワーク内のスマートフォンとのみ接続できます。

- 1 カメラ : ネットワークメニュー [スマートフォンと接続] > [Wi-Fi 接続（ステーションモード）] で [新規追加] を選び、
ⓧ ボタンを押す



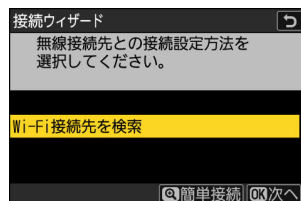
2 カメラ：接続設定名を入力する

- 変更しない場合は、そのまま **Q** ボタンを押すと、接続方法の設定画面が表示されます。
- 設定した接続設定名は、ネットワークメニュー **［スマートフォンと接続］** > **［Wi-Fi 接続（ステーションモード）］** に一覧で表示されます。
- 接続設定名を変更するには、**OK** ボタンを押します。



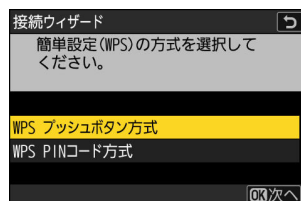
3 カメラ：［Wi-Fi 接続先を検索］を選び、**OK** ボタンを押す

カメラの周辺にある無線 LAN アクセスポイントを検索して、検出した接続先の SSID を表示します。



✓ **［簡単接続］** で接続する

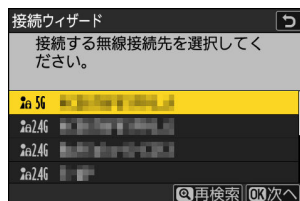
手順 3 で **Q** ボタンを押すと、SSID や暗号キーを入力せずに無線 LAN アクセスポイントに接続できます。接続方法を選んで **OK** ボタンを押してください。接続が完了したら、手順 6 に進んでください。



接続方法	内容
［WPS プッシュボタン方式］	無線 LAN アクセスポイントに WPS プッシュボタンがある場合に使用できます。WPS プッシュボタンを押した後にカメラの OK ボタンを押すと、無線 LAN アクセスポイントに接続できます。
［WPS PIN コード方式］	カメラに PIN コードが表示されます。パソコンを使用して無線 LAN アクセスポイントに PIN コードを入力します。無線 LAN アクセスポイントに PIN コードを入力する方法については、お使いの無線 LAN アクセスポイントの使用説明書をご覧ください。

4 カメラ：接続先の SSID を選ぶ

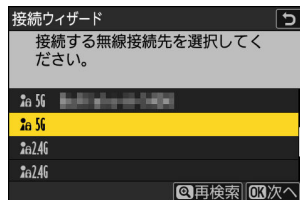
- 接続先の SSID を選んで **OK** ボタンを押します。
- 検出された SSID の周波数帯をアイコンで確認できます。
- 暗号ありの SSID には **🔒** が表示されます。暗号あり **🔒** の SSID を選んだ場合は、暗号キーの設定画面が表示されます。暗号なしの接続先を選んだ場合は手順 6 へお進みください。
- **🔍** ボタンを押すと無線接続先を再検索します。



✓ SSID が非公開に設定されている場合

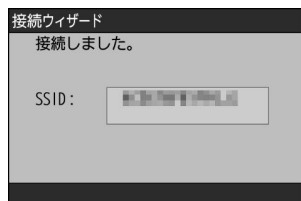
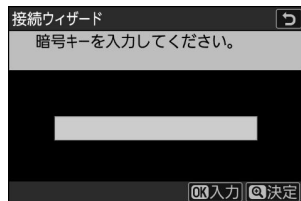
無線 LAN アクセスポイントが SSID を非公開に設定している場合、検出された SSID 一覧に SSID 名が表示されません。

- 非公開の SSID に接続したい場合、空欄になっている項目を選択して **OK** ボタンを押してください。続いて **🔍** ボタンを押すと、SSID 入力画面になります。
- 接続したい SSID 名を入力し、**🔍** ボタンを押してください。もう一度 **🔍** ボタンを押すと、暗号キーの設定画面が表示されます。



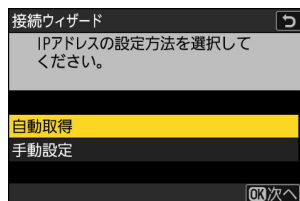
5 カメラ：暗号キーを入力する

- ㊄ ボタンを押して、無線 LAN アクセスポイントで使用している暗号キーを入力します。
- 無線 LAN アクセスポイントの暗号キーについては、無線 LAN アクセスポイントの使用説明書などをご覧ください。
- ㊄ ボタンを押して、暗号キーの入力を完了します。
- もう一度 ㊄ ボタンを押すと、接続を開始します。接続に成功すると、図のような画面が数秒間表示されます。



6 カメラ：IP アドレスの設定方法を選んで設定する

IP アドレスの設定方法を選んで **ⓧ** ボタンを押します。

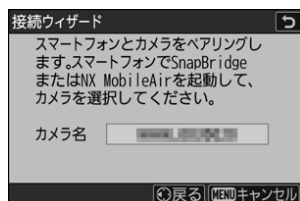


設定方法	内容
[自動取得]	カメラが自動で IP アドレスを取得します。IP アドレスを取得すると IP アドレス設定完了画面が表示されます。
[手動設定]	IP アドレス、サブネットマスクを手動で入力します。 <ul style="list-style-type: none">• ⓧ ボタンを押すと、IP アドレス入力画面が表示されます。• メインコマンドダイヤルを回して、変更したい桁を選びます。• ⓪ ⓫ を押して数値を変更し、ⓧ ボタンを押して決定します。• ⓪ ボタンを押すと、IP アドレス設定完了画面が表示されます。再度 ⓪ ボタンを押すと、サブネットマスク入力画面が表示されます。• サブネットマスクは ⓪ ⓫ を押して数値を変更し、ⓧ ボタンを押して決定すると、IP アドレス設定完了画面が表示されます。

7 カメラ：IP アドレス設定完了画面が表示されたら **ⓧ** ボタンを押す

8 カメラ：スマートフォンとの Wi-Fi 接続を開始する

カメラに図のような画面が表示されたら、スマートフォンで SnapBridge アプリを起動してください。



9 スマートフォン：SnapBridge アプリを起動し、**📷** タブの **📶** ボタンをタップして「Wi-Fi ステーションモード接続」を選ぶ

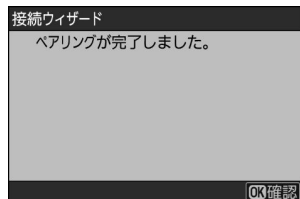
SnapBridge アプリをダウンロード後に初めて起動する場合は、アプリの紹介画面にある「カメラと接続する」をタップします。

10 スマートフォン：カメラ名を選ぶ

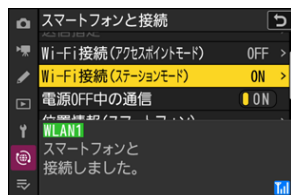
手順 8 でカメラに表示されているカメラ名を選びます。

11 カメラ/スマートフォン：Wi-Fi 接続を完了する

- カメラに図のような画面が表示されたら ⓧ ボタンを押してください。



- スマートフォンとカメラの Wi-Fi 接続が完了すると、スマートフォンに Wi-Fi ステーションモード画面が表示されます。
- カメラの画像モニターには接続完了のメッセージが表示されます。



カメラとスマートフォンの Wi-Fi 接続は完了しました。

接続後の操作方法などは SnapBridge アプリのヘルプをご覧ください。

スマートフォンと直接接続する（Wi-Fi アクセスポイントモード）

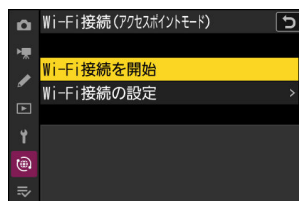
カメラとスマートフォンを直接 Wi-Fi 接続します。カメラをアクセスポイントとして使用するため、野外など無線 LAN 環境がない場合でも無線接続ができ、複雑な設定も不要です。カメラと接続中は、スマートフォンはインターネットを使用できません。

1 スマートフォン：SnapBridge アプリを起動し、 タブの ボタンをタップして【Wi-Fi アクセスポイントモード接続】を選ぶ

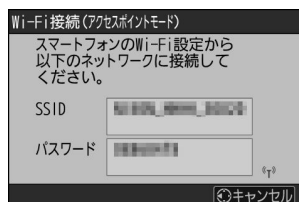
SnapBridge アプリをダウンロード後に初めて起動する場合は、アプリの紹介画面にある【カメラと接続する】をタップします。カメラのカテゴリー選択画面が表示されたら、接続するカメラのカテゴリーをタップし、次に表示される接続方法の選択画面で Wi-Fi 接続をタップしてください。

2 カメラ/スマートフォン：カメラ操作の説明画面が表示されたら、カメラの電源を ON にする この時点ではまだアプリの操作を行わないでください。

3 カメラ：ネットワークメニュー【スマートフォンと接続】>【Wi-Fi 接続（アクセスポイントモード）】で【Wi-Fi 接続を開始】を選んで ボタンを押す



SSID とパスワードが表示されます。



4 スマートフォン：アプリ画面の指示に従ってスマートフォンを操作し、Wi-Fi 接続する

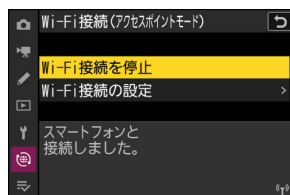
- iOS の場合、設定アプリが表示されます。[< 設定] をタップして [設定] 画面へ移動し、画面上部の [Wi-Fi] をタップして、Wi-Fi 接続の操作を行ってください。



- Wi-Fi 接続画面では、手順 3 でカメラに表示されている SSID を選び、パスワードを入力してください。

5 スマートフォン：手順 4 で OS の設定を完了したら、手動で SnapBridge アプリに戻る

- スマートフォンとカメラの Wi-Fi 接続が完了すると、スマートフォンに Wi-Fi モード画面が表示されます。
- カメラの画像モニターには接続完了のメッセージが表示されます。




カメラとスマートフォンの Wi-Fi 接続は完了しました。


接続後の操作方法などは SnapBridge アプリのヘルプをご覧ください。

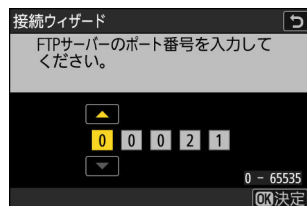
Wi-Fi ステーションモード／Wi-Fi アクセスポイントモードの解除方法

SnapBridge アプリの [Wi-Fi] タブで [解除] ボタンをタップして、Wi-Fi 接続を解除してください。表示が [Wi-Fi] に切り替わったら、[Wi-Fi] ボタンをタップして [Wi-Fi ステーションモードの解除] または [解除] をタップします。

FTP 接続設定で FTP のポート番号の指定が可能

ネットワークメニュー〔FTP サーバーと接続〕で接続ウィザードを使用して FTP サーバーへの接続設定を行う場合に、ポート番号を指定できるようになりました。FTP サーバーのアドレス入力後、 ボタンを押すとカメラが FTP サーバーに接続します。接続に成功した場合、ポート番号を入力する画面が表示されます。

- 値は 0～65535 の間で設定できます。
- 入力後、 ボタンを押すとログイン方法の選択画面が表示されます。



ネットワークメニュー[FTP サーバーと接続]に[送信時の HEIF 変換]が追加

ネットワークメニュー [FTP サーバーと接続] > [オプション] に [送信時の HEIF 変換] が追加されました。

- 設定できる項目は [高圧縮]、[中圧縮]、[低圧縮]、[しない] です。[しない] 以外に設定すると、撮影した RAW 画像または JPEG 画像を設定した圧縮率で HEIF 画像に変換して FTP サーバーに送信します。
- 変換した HEIF 画像は、メモリーカード内には保存されません。

ファームウェア C:3.00 での主な仕様

ファームウェアを C:3.00 にバージョンアップした場合の主な仕様は次の通りです。

型式	
型式	レンズ交換式デジタルカメラ
レンズマウント	ニコン Z マウント
使用レンズ	
使用レンズ	<ul style="list-style-type: none">• Z マウント用 NIKKOR レンズ• F マウント用 NIKKOR レンズ（マウントアダプターが必要、一部機能制限あり）
有効画素数	
有効画素数	4571 万画素
撮像素子	
方式	35.9×23.9 mm サイズ CMOS センサー（フルサイズ/FX フォーマット）
総画素数	5237 万画素
ダスト低減機能	イメージセンサークリーニング、イメージダストオフデータ取得（NX Studio が必要）

記録形式	
記録画素数	<ul style="list-style-type: none"> • 撮像範囲 [FX (36×24)] の場合 : <ul style="list-style-type: none"> - 8256×5504 ピクセル (サイズ L : 45.4 M) - 6192×4128 ピクセル (サイズ M : 25.6 M) - 4128×2752 ピクセル (サイズ S : 11.4 M) • 撮像範囲 [DX (24×16)] の場合 : <ul style="list-style-type: none"> - 5392×3592 ピクセル (サイズ L : 19.4 M) - 4032×2688 ピクセル (サイズ M : 10.8 M) - 2688×1792 ピクセル (サイズ S : 4.8 M) • 撮像範囲 [1:1 (24×24)] の場合 : <ul style="list-style-type: none"> - 5504×5504 ピクセル (サイズ L : 30.3 M) - 4128×4128 ピクセル (サイズ M : 17.0 M) - 2752×2752 ピクセル (サイズ S : 7.6 M) • 撮像範囲 [16:9 (36×20)] の場合 : <ul style="list-style-type: none"> - 8256×4640 ピクセル (サイズ L : 38.3 M) - 6192×3480 ピクセル (サイズ M : 21.5 M) - 4128×2320 ピクセル (サイズ S : 9.6 M)
ファイル形式 (画質モード)	<ul style="list-style-type: none"> • NEF (RAW) : RAW 14 ビット (ロスレス圧縮、高効率 ★、高効率) • JPEG : JPEG-Baseline 準拠、圧縮率 (約) : FINE (1/4)、NORMAL (1/8)、BASIC (1/16) サイズ優先または画質優先選択可能 • HEIF : 圧縮率 (約) : FINE (1/4)、NORMAL (1/8)、BASIC (1/16) サイズ優先または画質優先選択可能 • NEF (RAW) +JPEG : RAW と JPEG の同時記録可能 • NEF (RAW) +HEIF : RAW と HEIF の同時記録可能
ピクチャーコントロールシステム	<p>オート、スタンダード、ニュートラル、ビビッド、モノクローム、フラットモノクローム、ディープトーンモノクローム、ポートレート、リッチトーンポートレート、風景、フラット、Creative Picture Control (ドリーム、モーニング、ポップ、サンデー、ソンバー、ドラマ、サイレンス、ブリーチ、メランコリック、ピュア、デニム、トイ、セピア、ブルー、レッド、ピンク、チャコール、グラフィート、バイナリー、カーボン)、いずれも調整可能、カスタムピクチャーコントロール登録可能</p> <ul style="list-style-type: none"> • 静止画撮影で階調モード HLG 設定時は、スタンダード、モノクローム、フラットのみ設定可能 • NX Studio で作成したフレキシブルカラーの設定をカメラへ登録可能

記録形式	
記録媒体	CFexpress カード (Type B)、XQD カード、SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカード (SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカードは UHS-II 規格に対応)
ダブルスロット	メモリーカードの順次記録、バックアップ記録、RAW+JPEG 分割記録、RAW+HEIF 分割記録、JPEG+JPEG 分割記録、HEIF+HEIF 分割記録ならびにカード間コピー可能
対応規格	DCF 2.0、Exif 2.32、MPEG-A MIAF
ファインダー	
ファインダー	電子ビューファインダー、1.27cm/0.5 型 Quad-VGA OLED、約 369 万ドット、明るさ調整可能 (オート、マニュアル 18 段階)、カラーカスタマイズ可能、高フレームレート表示可能
視野率	上下左右とも約 100% (対実画面)
倍率	約 0.8 倍 (50mm レンズ使用時、 ∞ 、 -1.0 m^{-1} のとき)
アイポイント	接眼レンズ最後尾から 23mm (-1.0 m^{-1} のとき)
視度調節範囲	$-4 \sim +3 \text{ m}^{-1}$
アイセンサー	ファインダー表示と画像モニター表示の自動切り換え
画像モニター	
画像モニター	チルト式 8cm/3.2 型 TFT 液晶モニター (タッチパネル)、約 210 万ドット、視野角 170°、視野率約 100%、明るさ調整可能 (マニュアル 15 段階)、カラーカスタマイズ可能、縦横チルト可能

シャッター	
型式	電子シャッター、電子シャッター音あり、センサーシールド
シャッタースピード	1/32000～30 秒（ステップ幅：1/3、1/2、1 ステップに変更可能、撮影モード M では 900 秒まで延長可能）、Bulb、Time
フラッシュ同調シャッター スピード	1/250 秒または 1/200 秒以下の低速シャッタースピードで同調（1/200～1/250 秒はガイドナンバーが減少）。1/8000 秒までのシャッタースピードでオート FP ハイスピードシンクロ可能
レリーズ機能	
レリーズモード	1 コマ撮影、低速連続撮影、高速連続撮影、ハイスピードフレームキャプチャー +（プリキャプチャー機能あり）、セルフタイマー撮影
連続撮影速度	<ul style="list-style-type: none"> • 低速連続撮影：約 1～10 コマ/秒 • 高速連続撮影：約 10～20 コマ/秒 • ハイスピードフレームキャプチャー +（C15）：約 15 コマ/秒 • ハイスピードフレームキャプチャー +（C30）：約 30 コマ/秒 • ハイスピードフレームキャプチャー +（C60）：約 60 コマ/秒 • ハイスピードフレームキャプチャー +（C120）：約 120 コマ/秒 ※ ニコン試験条件での最大撮影速度
セルフタイマー	作動時間：2、5、10、20 秒、撮影コマ数：1～9 コマ、連続撮影間隔：最短、0.5、1、2、3 秒

露出制御	
測光方式	撮像素子による TTL 測光方式
測光モード	<ul style="list-style-type: none"> • マルチパターン測光 • 中央部重点測光：標準（$\phi 12\text{mm}$ 相当）、小さめ（$\phi 8\text{mm}$ 相当）、画面全体の平均に変更可能、中央部重点度約 75% • スポット測光：約 $\phi 4\text{ mm}$ 相当を測光、フォーカスポイントに連動して測光位置可動 • ハイライト重点測光
測光範囲	-3～17 EV ※ ISO 100、f/2.0 レンズ使用時、温度 20℃
撮影モード	P ：プログラムオート（プログラムシフト可能）、 S ：シャッター優先オート、 A ：絞り優先オート、 M ：マニュアル
露出補正	範囲： ± 5 段、補正ステップ：1/3、1/2 ステップに変更可能
AE ロック	輝度値ロック方式
ISO 感度（推奨露光指数）	ISO 64～25600（ステップ幅：1/3、1 ステップに変更可能）、ISO 64 に対し約 0.3、0.7、1 段（ISO 32 相当）の減感、ISO 25600 に対し約 0.3、0.7、1 段、2 段（ISO 102400 相当）の増感、感度自動制御が可能 ※ 階調モード HLG 設定時は、ISO 400～25600
アクティブ D-ライティング	オート、より強め 2、より強め 1、強め、標準、弱め、しない
多重露出	加算、加算平均、比較明合成、比較暗合成
その他の機能	HDR 合成、静止画フリッカー低減、高周波フリッカー低減

オートフォーカス	
方式	ハイブリッド AF（位相差 AF/コントラスト AF）、AF 補助光付
検出範囲	-7~19 EV（スターライトビュー有効時：-9~19 EV） ※ 静止画モード、シングル AF サーボ（ AF-S ）、ISO 100、f/1.2 レンズ使用時、温度 20℃
レンズサーボ	<ul style="list-style-type: none"> • オートフォーカス：シングル AF サーボ（AF-S）またはコンティニュアス AF サーボ（AF-C）、フルタイム AF（AF-F）（動画モードのみ）、予測駆動フォーカスあり、フォーカスリミッターあり • マニュアルフォーカス（M）：フォーカスエイド可能
フォーカスポイント	493 点 ※ 静止画モード、撮像範囲 FX、シングルポイント AF 時
AF エリアモード	ピンポイント AF（静止画モードのみ）、シングルポイント AF、ダイナミック AF（S、M、L、静止画モードのみ）、ワイドエリア AF（S、L、C1、C2）、オートエリア AF、3D-トラッキング（静止画モードのみ）、ターゲット追尾（動画モードのみ）
フォーカスロック	サブセレクターの中央押し、またはシングル AF サーボ（ AF-S ）時にシャッターボタン半押し
手ブレ補正機能	
ボディー内手ブレ補正	イメージセンサーシフト方式 5 軸補正
レンズ内手ブレ補正	レンズシフト方式（VR レンズ使用時）

フラッシュ	
調光方式	TTL 調光制御 ：i-TTL-BL 調光（マルチパターン測光、中央部重点測光またはハイライト重点測光）、スタンダード i-TTL 調光（スポット測光）可能
フラッシュモード	先幕シンクロ、スローシンクロ、後幕シンクロ、赤目軽減、赤目軽減スローシンクロ、発光禁止
調光補正	範囲：-3～+1 段、補正ステップ：1/3、1/2 ステップに変更可能
レディーライト	別売スピードライト使用時に充電完了で点灯、フル発光による露出不足警告時は点滅
アクセサリシュー	ホットシュー（ISO 518）：シンクロ接点、通信接点、セーフティロック機構（ロック穴）付
ニコンクリエイティブライティングシステム	i-TTL 調光、電波制御アドバンストワイヤレスライティング、光制御アドバンストワイヤレスライティング、モデリング発光、FV ロック、発光色温度情報伝達、オート FP ハイスピードシンクロ、ユニファイドフラッシュコントロール
ホワイトバランス	
ホワイトバランス	オート（3 種）、自然光オート、晴天、曇天、晴天日陰、電球、蛍光灯（3 種）、フラッシュ、色温度設定（2500K～10000K）、プリセットマニュアル（6 件登録可）、全て微調整可能
ブラケティング	
ブラケティング	AE・フラッシュブラケティング、AE ブラケティング、フラッシュブラケティング、ホワイトバランスブラケティング、アクティブ D-ライティングブラケティング
静止画のその他の機能	
静止画のその他の機能	ヴィネットコントロール、回折補正、自動ゆがみ補正、美肌効果、人物印象調整、インターバルタイマー撮影、フォーカスシフト撮影、ピクセルシフト撮影、オートキャプチャー

動画機能	
測光方式	撮像素子による TTL 測光方式
測光モード	マルチパターン測光、中央部重点測光、ハイライト重点測光
記録画素数/フレームレート	<ul style="list-style-type: none"> • 7680×4320 (8K UHD) : 30p/25p/24p • 3840×2160 (4K UHD) : 120p/100p/60p/50p/30p/25p/24p • 1920×1080 : 120p/100p/60p/50p/30p/25p/24p • 1920×1080 スロー : 30p (4 倍) /25p (4 倍) /24p (5 倍) ※ 120p : 119.88fps、100p : 100fps、60p : 59.94fps、50p : 50fps、30p : 29.97fps、25p : 25fps、24p : 23.976fps
記録画素数/フレームレート (RAW 動画)	<ul style="list-style-type: none"> • 8256×4644 : 60p/50p/30p/25p/24p • 5392×3032 : 60p/50p/30p/25p/24p • 4128×2322 : 120p/100p/60p/50p/30p/25p/24p • 3840×2160 : 120p/100p/60p/50p ※ 120p : 119.88fps、100p : 100fps、60p : 59.94fps、50p : 50fps、30p : 29.97fps、25p : 25fps、24p : 23.976fps
ファイル形式	NEV、MOV、MP4
映像圧縮方式	N-RAW (12bit)、Apple ProRes RAW HQ (12bit)、Apple ProRes 422 HQ (10bit)、H.265/HEVC (8bit/10bit)、H.264/AVC (8bit)
音声記録方式	リニア PCM (48KHz 24bit、動画記録ファイル形式が NEV または MOV の場合)、AAC (48KHz 16bit、動画記録ファイル形式が MP4 の場合)
録音装置	内蔵ステレオマイク、外部マイク使用可能、マイク感度設定可能、アッテネーター機能
露出補正	範囲 : ±3 段、補正ステップ : 1/3、1/2 ステップに変更可能
ISO 感度 (推奨露光指数)	<ul style="list-style-type: none"> • 撮影モード M : ISO 64～25600 (ステップ幅 : 1/6、1/3、1 ステップに変更可能)、ISO 25600 に対し約 0.3、0.7、1 段、2 段 (ISO 102400 相当) の増感、感度自動制御 (ISO 64～Hi 2.0) が可能、制御上限感度が設定可能 • 撮影モード P、S、A : 感度自動制御 (ISO 64～Hi 2.0)、制御上限感度が設定可能 ※ 階調モード HLG 設定時は、ISO 400～25600

動画機能	
アクティブ D-ライティング	より強め、強め、標準、弱め、しない
動画のその他の機能	タイムラプス動画、電子手ブレ補正、タイムコード、動画 Log (N-Log)、HDR (HLG) 動画、ウェーブフォーム表示、動画撮影中の赤枠表示、動画記録中の拡大表示 (50%、100%、200%、400%)、シャッタースピード延長機能 (撮影モード M 時)、RAW 動画記録時の再生用動画 (プロキシ動画) 同時記録、オーバーサンプリングモードあり、 i メニュー動画撮影情報、ハイレゾズーム、オートキヤプチャー
再生機能	
再生機能	1 コマ再生、サムネイル (約 4、9、72 分割)、拡大再生、拡大再生中のトリミング、動画再生、スライドショー、ヒストグラム表示、ハイライト表示、撮影情報表示、位置情報表示、撮影画像の自動回転、レーティング、フィルター再生、音声メモ入力/再生、IPTC プリセット添付/表示、連続撮影グループ先頭への画像送り、連続撮影画像のグループ再生表示、動画再生時の一括フレーム保存、比較動合成
インターフェース	
USB	Type-C 端子 <ul style="list-style-type: none"> • USB 通信専用端子 (SuperSpeed USB) ×1 口 • USB 充給電専用端子×1 口
HDMI 出力	HDMI 端子 (Type A)
外部マイク入力	ステレオミニジャック (ø3.5mm)、プラグインパワーマイク対応
ヘッドホン出力	ステレオミニジャック (ø3.5 mm)
10 ピンターミナル	あり (別売リモートコード MC-30A/MC-36A など使用可能)

Wi-Fi（無線 LAN）・Bluetooth	
Wi-Fi	<ul style="list-style-type: none"> • 準拠規格：IEEE802.11b/g/n/a/ac • 周波数範囲（中心周波数）：2412～2472 MHz（13ch）、5180～5700 MHz • 出力（EIRP）： <ul style="list-style-type: none"> - 2.4 GHz：1.4 dBm - 5 GHz（5180 MHz～5320 MHz）：10.8 dBm - 5 GHz（5500 MHz～5700 MHz）：7.8 dBm • 認証方式：オープンシステム、WPA2-PSK、WPA3-SAE
Bluetooth	<ul style="list-style-type: none"> • 通信方式：Bluetooth 標準規格 Ver.5.0 • 周波数範囲（中心周波数）： <ul style="list-style-type: none"> - Bluetooth：2402～2480 MHz - Bluetooth Low Energy：2402～2480 MHz • 出力（EIRP）： <ul style="list-style-type: none"> - Bluetooth：－4.1 dBm - Bluetooth Low Energy：－5.6 dBm
電源	
使用電池	<p>Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL15c※ 1 個使用</p> <p>※ EN-EL15c の代わりに EN-EL15b/EN-EL15a も使えます。ただし、EN-EL15c を使用したときよりも撮影可能コマ数（電池寿命）が減少します。本体充電 AC アダプター EH-7P または AC アダプター EH-8P を使用して充電する場合は、EN-EL15c/EN-EL15b のみ充電可能です。</p>
バッテリーパック	<p>パワーバッテリーパック MB-N12（別売）：Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL15c※ 2 個使用</p> <p>※ EN-EL15c の代わりに EN-EL15b/EN-EL15a も使えます。ただし、EN-EL15c を使用したときよりも撮影可能コマ数（電池寿命）が減少します。</p>
AC アダプター	<ul style="list-style-type: none"> • 本体充電 AC アダプター EH-7P（別売） • AC アダプター EH-8P（USB ケーブル UC-E25 と組み合わせて使用）（別売） • AC アダプター EH-5d/EH-5c/EH-5b（パワーコネクター EP-5B と組み合わせて使用）（別売）

三脚ネジ穴	
三脚ネジ穴	0.635cm (1/4 型、ISO 1222)
寸法・質量	
寸法 (W×H×D)	約 144×118.5×83 mm
質量	約 910 g (バッテリーおよびメモリーカードを含む、ボディーキャップ、アクセサリシューカバーを除く)、約 820 g (本体のみ)
動作環境	
温度	−10℃～40℃
湿度	85%以下 (結露しないこと)

- 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、CIPA（カメラ映像機器工業会）規格またはガイドラインに準拠しています。
- 仕様中のデータは、フル充電バッテリー使用時のものです。
- 本書では、35mm 判カメラに準じた画角（フルサイズ）を「FX フォーマット」または「FX」、APS-C サイズに準じた画角を「DX フォーマット」または「DX」と表記しています。
- カメラに表示されるサンプル画像、および本書記載の画像やイラストは、機能を説明するためのイメージです。
- 製品の外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。本書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

索引

索引

マーク・英数字

- メニューのカスタマイズ ([📖 38](#))
- AF/MF の被写体検出設定 ([📖 9](#))
- MF 時の被写体検出範囲 ([📖 9](#))
- Wi-Fi アクセスポイントモード ([📖 43](#))
- Wi-Fi ステーションモード ([📖 43](#))

ア

- オートキャプチャー ([📖 23](#))

カ

- 画質モード ([📖 12](#))
- 画質モード (HSFC) ([📖 12](#))
- 画質モード設定 ([📖 12](#))
- カスタムボタンの機能 ([📖 39](#))
- カスタムボタンの機能 (再生) ([📖 41](#))
- カスタムボタンの機能 (撮影) ([📖 39](#))
- 画像編集機能のカスタマイズ ([📖 31](#))
- 高感度ノイズ処理モード ([📖 13](#))
- 高周波フリッカー低減 ([📖 14](#))

サ

- 再生中の画面自動回転 ([📖 32](#))
- 絞り開放 Lv ([📖 33](#))
- セルフタイマー ([📖 37](#))
- 送信時の HEIF 変換 ([📖 52](#))

ハ

- ハイスピードフレームキャプチャー + ([📖 11](#))
- ハイレゾズーム ([📖 28](#))
- ピクセルシフト撮影 ([📖 21](#))
- ファームウェアバージョン ([📖 5](#))
- フィルター再生の条件設定 ([📖 30](#))
- フォーカスシフト撮影 ([📖 19](#))
- フォーカスリミッター設定 ([📖 34](#))
- フレキシブルカラー ([📖 10](#))

ワ

- ワイドエリア AF (C1) ([📖 8](#))
- ワイドエリア AF (C2) ([📖 8](#))

株式会社 **ニコン**

株式会社 **ニコン** イメージング ジャパン